## 行政評価外部評価報告書(総括一部抜粋)

取組項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
市民にわかりやすい評価	行政評価制度は、市が取り組む施策や事業の実施状況を自ら点検・評価し、その結果に基づき必要な見直しを行うことにより効率的・効果的な市政運営を行うとともに、一連の経過を市民にわかりやすく説明することにより、行政と市民が情報を共有し、市民参加による市政の実現を図ろうとするものです。こうした観点から、現在、市が実施している行政評価表を点検すると、評価表の記載内容に専門用語が多用されていたり、達成状況の分析が不十分であるなど、行政の仕組みに馴染みの薄い市民にはわかりにくい点も見受けられます。評価表の作成に当たっては、市民の目線に立った説明を心がけるとともに、達成状況の分析なども、アンケート結果などの具体的な実例を挙げるなど、説得力のある説明が望まれます。	行政評価制度は、市が取り組む施策や事業の実施状況を自ら点検・評価し、その結果に基づき必要な見直しを行うことにより効率的・効果的な市政運営を行うとともに、一連の経過を市民にわかりやすく説明することにより、行政と市民が情報を共有し、市民参加による市政の実現を図ろうとするものです。こうした観点から、現在、市が実施している行政評価表を点検すると、評価表の記載内容に専門用語が多用されていたり、達成状況の分析が不十分であるなど、行政の仕組みに馴染みの薄い市民にはわかりにくい点も見受けられます。評価表の作成に当たっては、市民の目線に立った説明を心がけるとともに、達成状況の分析なども具体的な実例を挙げるなど、説得力のある説明が望まれます。	行政評価制度は、市が取り組む施策や事業の実施状況を自ら点検・評価し、その結果に基づき必要な見直しを行うことにより効率的・効果的な市政運営を行うとともに、一連の経過を市民にわかりやすく説明することにより、行政と市民が情報を共有し、市民参加による市政の実現を図ろうとするものです。こうした観点から、現在、市が実施している行政評価表を点検すると、過去2年の外部評価で指摘されてきた、専門用語を用いたわかりにくい表現や達成状況分析の不十分さについては、一定の改善が見られると評価できますが、達成状況に具体的な事業の実例を書き込むなど、施策の推進に向けた市の取り組みが市民にも見えるような評価を心掛けてくれるよう期待します。
適切な成果指標の設定	行政が進めるまちづくりは、総合計画の施策に基づいて体系的に取り組まれていますが、それぞれの施策ごとに、計画期間内においてどこまでの水準を目指すのか、現段階ではどこまで到達したのか、予定どおり進んでいるのか、遅れているのかといった進捗状況を示すのが成果指標です。こうした指標の設定に当たっては、各施策が目指すすが、市が設定している成果指標の中には、施策の意図とは関連が薄いもの、施策の全体像を反映していないものなども見受けられます。指標の設定に当たっては、既存のデータに適当なものがなかったり、新たにデータを取ることが難しいなどの課題もあるものとは思われますが、市民の要望を十分に理解したうえで、市民アンケートを工夫するなど、可能なかぎり、目指すべきまちづくりの方向を適切に示す指標の設定に努められることを期	行政が進めるまちづくりは、総合計画の施策に基づいて体系的に取り組まれていますが、それぞれの施策ごとに、計画期間内においてどこまでの水準を目指すのか、現段階ではどこまで到達したのか、予定どおり進んでいるのか、遅れているのかといった進捗状況を示すのが成果指標です。こうした指標の設定に当たっては、各施策が目指す結果を端的に表すデータの使用が望ましいところですが、市が設定している成果指標の中には、施策の全体像を反映していないものや、その指標を用いることの意図がわかりにくいものなども見受けられます。 指標の設定に当たっては、既存のデータに適当なものがなかったり、新たにデータを取ることが難しいなどの課題もあるとは思われますが、市民の要望を十分に理解したうえで、可能なかぎり、目指すべきまづくりの方向を適切に示す指標の設定に努めら	行政が進めるまちづくりは、総合計画の施策に基づいて体系的に取り組まれていますが、それぞれの施策ごとに、計画期間内においてどこまでの水準を目指すのか、現段階ではどこまで到達したのか、予定どおり進んでいるのか、遅れているのかといった進捗状況を示すのが成果指標です。こうした指標の設定に当たっては、各施策が目指す結果を端的に表すデータの使用が望ましいところですが、市が設定している成果指標の中には、施策の全体像を反映していないものや、その指標を用いることの意図がわかりにくいものなども見受けられます。 指標の設定に当たっては、既存のデータに適当なものがないことや、新たにデータを取ることが難しいなどの課題もあるとは思われますが、市民の要望を十分に理解したうえで、可能なかぎり、目指すべきまちづくりの方向を適切に示す指標の設定に努めら